

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。  
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二六（令和八）年度

東北学院高等学校

〈特別進学コース自己推薦〉

国語

二〇二六（令和八）年一月十四日（水）

九時～九時五十分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章は、香港<sup>ホンコン</sup>にある「チョンキンマンション（重慶大厦）」というビルを拠点にビジネスをするタンザニア人たちの助け合いについての文章です。これを読んで後の問いに答えなさい。なお、出題にあたって本文を改めた箇所があります。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(小川さやか『チョンキンマンションのボスは知っている』より)

問一 —— 部A 「ありていに言う」、B 「羽振りが良かった」の意味として最も適切なものを次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- |             |         |              |          |
|-------------|---------|--------------|----------|
| A 「ありていに言う」 |         | B 「羽振りが良かった」 |          |
| ア           | 意地悪に言う  | ア            | 時間を持て余した |
| イ           | 率直に言う   | イ            | 運が良かった   |
| ウ           | 主観的に言う  | ウ            | 上機嫌であった  |
| エ           | ひねくれて言う | エ            | 金回りが良かった |
| オ           | まとめて言う  | オ            | 都合が合った   |

問二 —— 部(1) 『『適当』にやっている』について、「適当」とはカラマのどのような助け方を表現していますか。三十文字以内で答えなさい。  
なお、句読点や記号も一字とし、以下同じとします。

問三 —— 部(2) 「負い目」とはどのような感情ですか。本文に即して四十字以内で説明しなさい。

問四 —— 部(3) 「気軽な『助け合い』」について、タンザニア人たちはなぜこのような助け合いをしているのですか。本文に即して四十五字以内で答えなさい。

問五 

X
---

、

Y
---

 に入る語句の組み合わせとして正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- |   |      |      |
|---|------|------|
| ア | X…一時 | Y…永続 |
| イ | X…経済 | Y…政治 |
| ウ | X…利己 | Y…利他 |
| エ | X…無機 | Y…有機 |
| オ | X…自律 | Y…他律 |

問六 —— 部(4)「私は、大きな勘違いをしていた」について、「私」の発想はなぜ「勘違い」だったのですか。その説明として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア タンザニア人のプラットフォームを市場交換に適した形に洗練してしまうと、本来の目的であった他者への共感や仲間との共存、遊び心よりも経済的価値を優先する矛盾が生じるから。

イ タンザニア人のプラットフォームはテクノロジーを用いた新しいビジネスを模索する過程で生み出されたものであり、使われていくうちに自然と効率化が実現できるものであったから。

ウ タンザニア人たちはプラットフォームで提供されるコメディ動画や自撮り動画のほうを主に楽しんでおり、効率性を重視したビジネスは別のSNSを用いて行っていたから。

エ タンザニア人のプラットフォームは、もともと「互酬」や「シェア」という発想から始まっており、テクノロジーを用いてより多くのユーザーを獲得してすでに洗練の域に達しているから。

問七 —— 部(5)「順序はまったく逆である」について、タンザニア人のプラットフォームはどのような流れで形成されましたか。六十字以内で説明しなさい。

二

次の文章は、麻生<sup>あそ</sup>人生<sup>じんせい</sup>、中村つぼみ、ばあちゃんの三人が、ばあちゃんの「いちばん大好きな場所」である御射鹿池<sup>みしゃか</sup>（長野県茅野市<sup>ちの</sup>）を訪れる場面です。これを読んで後の問いに答えなさい。なお、出題にあたって本文を改めた箇所があります。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

## 著作物保護のため掲載を控えます

(原田マハ『生きるほくら』より)

問一 ——— 部A「所在なさそうに」、B「踵を返す」の本文中の意味として適切なものを、次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

A 「所在なさそうに」

- ア つまらなそうに  
イ 困惑したような表情で  
ウ 申し訳無さそうに  
エ 悲しみにくれた様子で  
オ どうしていいかわからない様子で

B 「踵を返す」

- ア 気を取り直す  
イ ふと我に返る  
ウ 振り返って進む  
エ 姿勢を正す  
オ 過去を振り切る

問二 ——— 部(1)「はっきりと、名前を呼ぶ声が出た。それは、確かにばあちゃんの声だった」からはどのようなことがわかりますか。簡潔に答えなさい。

問三 次の対話は、——部(2)「ほら。……あんたの、宝物だよ」についての話し合いです。これを読んで、——部(2)のつぼみの発言の読み取りとして適切でないものを一つ選び、A～Eの記号で答えなさい。

A 水没して使い物にならなくなった携帯を、あえて「宝物」と呼んでいることには、単に「大切なもの」という意味にとどまらない、何かしらの意図があるように思います。

B 私はこの発言からは、皮肉であるような印象を受けます。湖に突進した人生の身を第一に案じるばあちゃんをよそに、携帯に心を奪われている人生をたしなめようとしたのではないのでしょうか。

C そうですね。ばあちゃんを責めたい思いに駆られている人生に対して、「こんなものがあなたの『宝物』なんだね」と、その愚かしさを気づかせたいのだと感じました。

D しかも、型落ちで流行遅れの携帯を後生大事にして、ばあちゃんの大好きな場所でつぼみと言い争いをする人生を、つぼみは心底軽蔑したのではないかと思います。

E つぼみが危険を冒して冬の湖から人生の携帯を取り上げたのは、ばあちゃんを守るためにどうしても人生を冷静にさせる必要があると考えたからではないでしょうか。

問四 ——部(3)「帰らないで、と言っているように、都合よく聞こえてしまった」のはなぜですか。与えられた枠内で説明しなさい。

問五 ——部(4)「呪文のように、人生は自分に言い聞かせていた」のはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。

問六 本文中の~~~~部Ⅰ～Ⅴの表現についての説明として、適切なものには○、適切でないものには×で答えなさい。

Ⅰにある「恐ろしいほどの寒気」という表現からは、冬の湖の冷たさに加えて、命のように大切に思っていた携帯を失った人生の絶望感が読み取れる。

Ⅱ「氷の塊のように冷えきった携帯電話」という隠喩は、大切な携帯を台無しにしてしまったばあちゃんに対する人生の愛情が冷え切ったことを表している。

Ⅲ「ばかだなおれ、と声に出さずにつぶやいた」という表現からは、人生が自分自身の言動を客観的に観察して冷静さを取り戻しつつあることが読み取れる。

Ⅳの「ため息」からは、もしかしたらつぼみに呼び止めてもらえるかもしれないとかすかな期待が、むなしいものであったという思いが読み取れる。

Ⅴの表現からは、東京に帰るといふ決心が揺らいで電車に乗ることもできず、一方で今後の行く先も決められない人生の優柔不断さを読み取ることができる。

三

次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

## 著作物保護のため掲載を控えます

(松尾芭蕉「垣穂の梅」)

問一 ——— 部A「さうらふ」を現代仮名遣いに直しなさい。

問二 ——— 部(1)「これなむあるじ」という発言からは、筆者のどのような思いが読み取れますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 主人が不在の間に満開の梅を独り占めできるという密かな楽しみ。
- イ 主人は不在で、梅でも見ているしかないという期待が外れた落胆。
- ウ 約束を破った主人と違って、梅は自分を裏切らなかったという痛烈な皮肉。
- エ 不在の主人に代わって、梅が自分を迎えてくれているという風流な空想。

問三 ——— 部(2)「興うしなひて」について、筆者がこう感じたのはなぜですか。四十字以内で説明しなさい。

四

①～⑤の ——— 部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の ——— 部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- |   |             |   |             |
|---|-------------|---|-------------|
| ① | オウセイな好奇心。   | ⑥ | 大過なく任務を終える。 |
| ② | 勝つためのサクを練る。 | ⑦ | スーパーに品物を卸す。 |
| ③ | 過去をカエリみる。   | ⑧ | 滑舌を良くする練習。  |
| ④ | 製造業のハンボウ期。  | ⑨ | 峡谷の美しい風景。   |
| ⑤ | 壁の穴をフサぐ。    | ⑩ | 気力を奮って戦う。   |



